

第22回 医療の安全に関する研究会 研究大会

抗がん剤曝露の現状と安全対策

～患者家族と職員の安全のために～

2017年11月11日(土) 10:25～16:40

同志社女子大学今出川キャンパス 純正館 地階(定員200名)

京都市上京区今出川通寺町西入(地下鉄烏丸線「今出川」駅3番出口、右手に京都御所を見ながら東へ徒歩約6分。)

参加費：一般 2,000 円 会員 1,500 円 学生 無料

※どなたでも参加できます。郵便振替(口座番号：00870-7-104540 名義：医療の安全に関する研究会)で参加費をお振込みください。「参加証」をお送りします。当日参加も可能ですが、できるだけ事前申し込みをお願いします。

抗がん剤治療中の患者さんからの排せつ物には抗がん剤が微量ながら含まれています。抗がん剤の種類によっては手で触れるだけで吸収されてしまう場合もあります。しかし、これらの患者さんを避けたり、抗がん剤曝露を過度に怖がったりする必要はありません。この研究大会では抗がん剤曝露の危険性を、患者さんや患者さんの家族とともに考えたいと思います。

プログラム

09:50 受付開始

総司会 古谷 昭雄 (大阪青山大学 特任教授)

10:25 開会の挨拶 島田 康弘 (医療の安全に関する研究会理事長、名古屋大学名誉教授)

10:30 大会長講演「抗がん剤曝露の対策の歴史」

杉浦 伸一 (同志社女子大学 教授)

座長 松山 健 (たいよう法律事務所 弁護士)

11:10 特別講演「抗がん剤曝露について患者と情報を共有すべきか」

中西 弘和 (同志社女子大学 教授)

座長 齋藤 悦子 (穂の香学園 理事 穂の香看護専門学校 学校長)

12:10 「医療職の抗がん剤曝露に対する法的な考え方」

加藤 良夫 (栄法律事務所 弁護士)

座長 北野 達也 (星城大学経営学部 教授)

12:30 昼食休憩

13:30 シンポジウム「抗がん剤の曝露について患者、一般市民及び医療者と患者の対応」

(コーディネーター) 加藤 良夫、杉浦 伸一

(シンポジスト) 一般市民の立場から 原 絹代 (WAMクリエイティブ代表)

医療者の立場から 小林 由佳 (京都桂病院 薬剤科 科長)

医療安全の立場から 酒井 順哉 (名城大学大学院・保健情報学 教授)

患者の立場から 山口 育子 (COML理事長)

16:30 次期大会長挨拶 古谷 昭雄 (大阪青山大学 特任教授)

主催：医療の安全に関する研究会

<http://www2.meijo-u.ac.jp/~sakai/iryou-anzen/index.htm>

〒461-0001 名古屋市東区泉1丁目1-35

ハイエスト久屋6階 センター気付

TEL : 052 - 951 - 3931, FAX : 052 - 951 - 3932

会場へのアクセス

会 場：同志社女子大学 純正館 地下 1F

住 所：京都市上京区今出川通寺町西入

※ 純正館 1 階フロアに休憩所がありますので昼食等でご利用できます。売店はありません。

交 通：地下鉄烏丸線「今出川」駅 3 番出口、右手に京都御所を見ながら東へ徒歩約6分。東門すぐ。

※ 駐車場はありませんので公共交通機関をご利用下さい

会場 URL: <http://www.dwc.doshisha.ac.jp/access/imadegawa/>

